

平成24年度医療と介護の連携のためのアンケート調査結果

1 対象

札幌市内に居住する市民、札幌市内で開設している診療所及び訪問看護ステーション

2 調査期間

平成25年3月7日（木曜日）～25日（月曜日）

3 調査方法

質問紙調査（郵送法）

4 対象者ごとの発送・回収数

| 対象者 | 一般市民 | 医療・介護関係者向け | |
|-------|---------------------------|--------------------|---------------------------|
| | | 診療所 | 訪問看護ステーション |
| 概要 | 札幌市内に住む満65歳以上の男女個人（無作為抽出） | 手稲区を除く札幌市内のすべての診療所 | 手稲区を除く札幌市内のすべての訪問看護ステーション |
| 発送数 | 3,000名 | 1,227施設 | 68施設 |
| 回収数 | 1,928名 | 645施設 | 37施設 |
| (回収率) | (64.3%) | (52.6%) | (54.4%) |

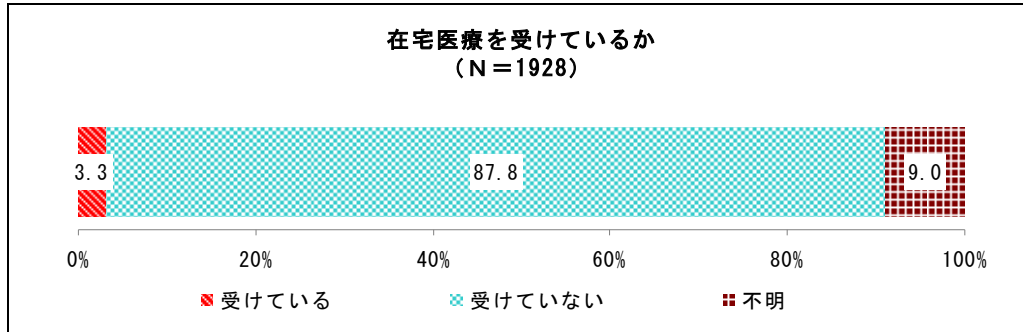
※手稲区の診療所・訪問看護ステーションについては、他の実施主体により同様のアンケート調査が別途実施されたため、本調査から除外した。

5 調査結果概要

(1) 一般市民

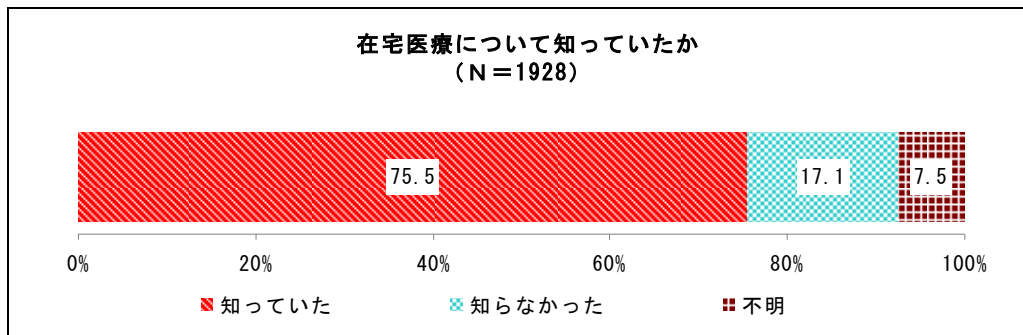
ア 在宅医療を受けているか

在宅医療を受けている人 3.3%



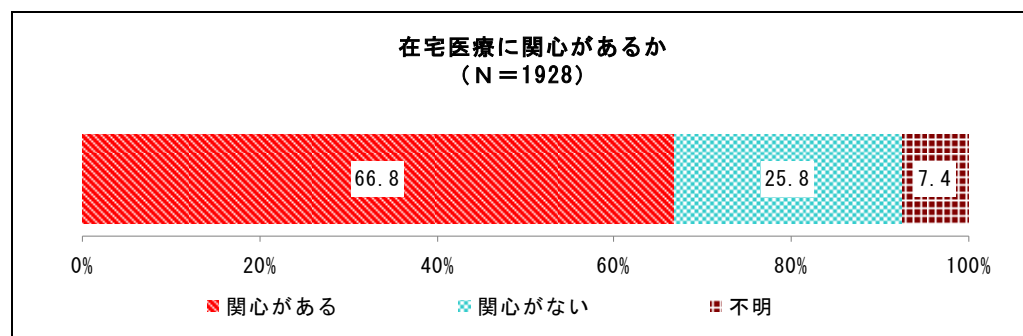
イ 在宅医療について知っていたか

在宅医療を知っている人 75.5%



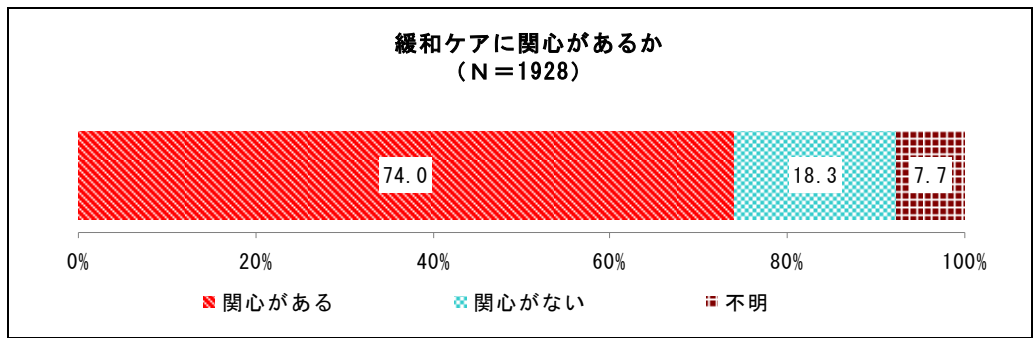
ウ 在宅医療に関心があるか

在宅医療に関心のある人 66.8%



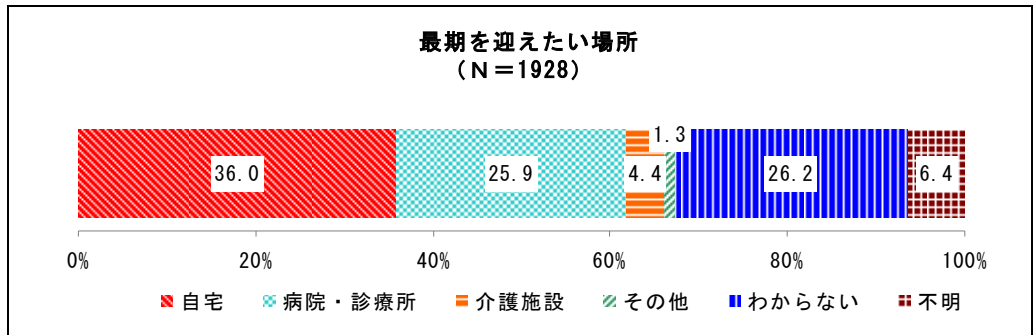
エ 緩和ケアに関心があるか

緩和ケアに関心のある人 74.4%



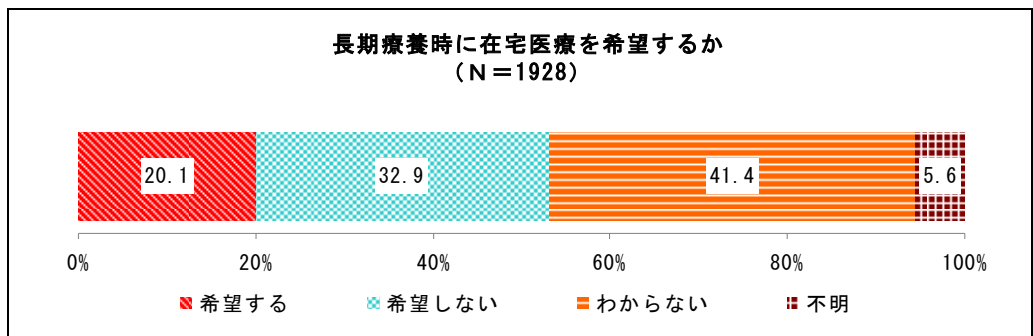
オ 最期を迎えたい場所

自宅 36.0%、病院 25.9%、わからない 26.2%



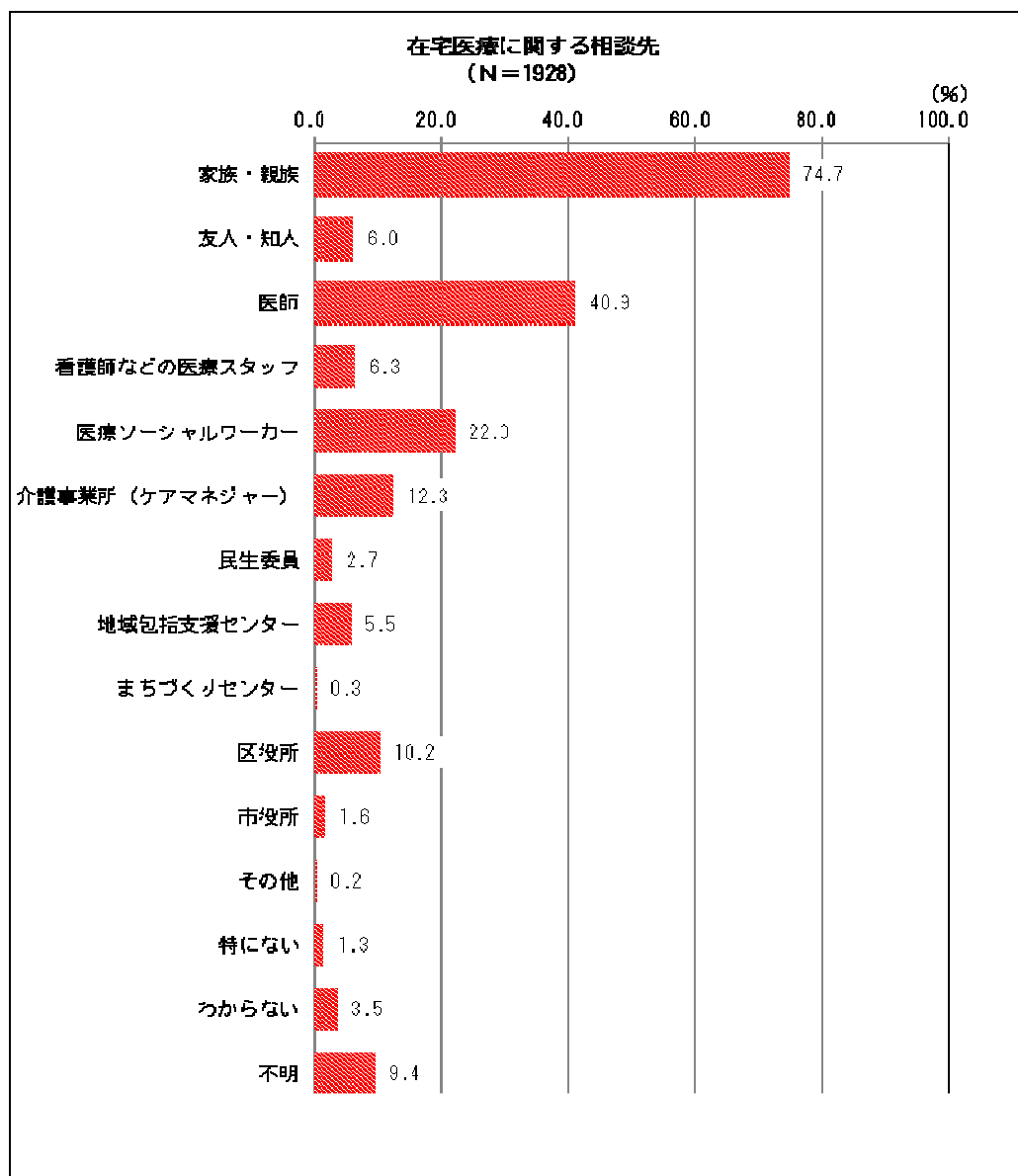
カ 長期療養時に在宅医療を希望するか

希望する 20.1%、希望しない 32.9%、わからない 41.4%



キ 在宅医療に関する相談先（複数回答）

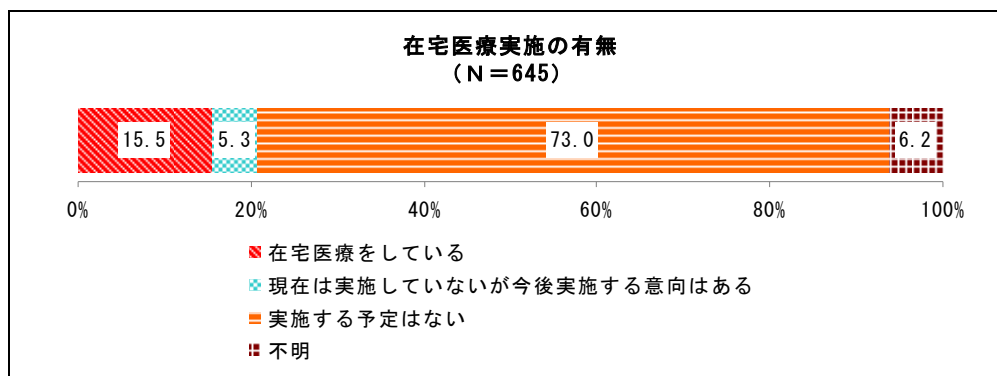
家族・親族 74.7%、医師 40.9%



(2) 診療所

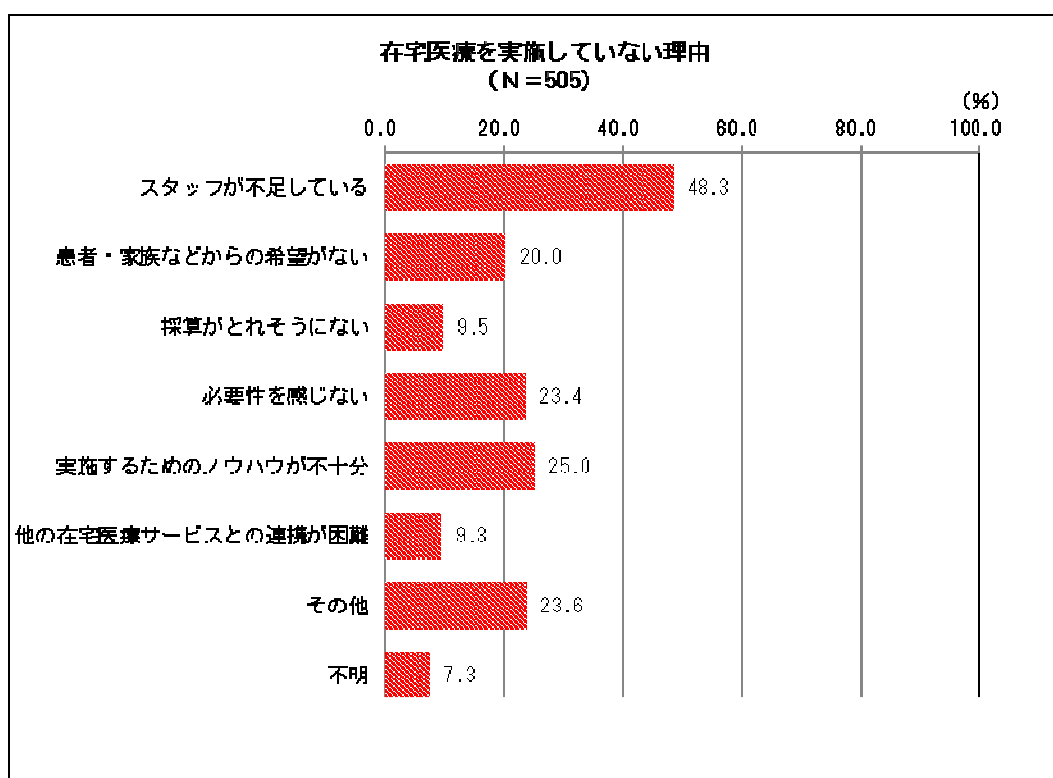
ア 在宅医療実施の有無

在宅医療を実施している医療機関 … 15.5%



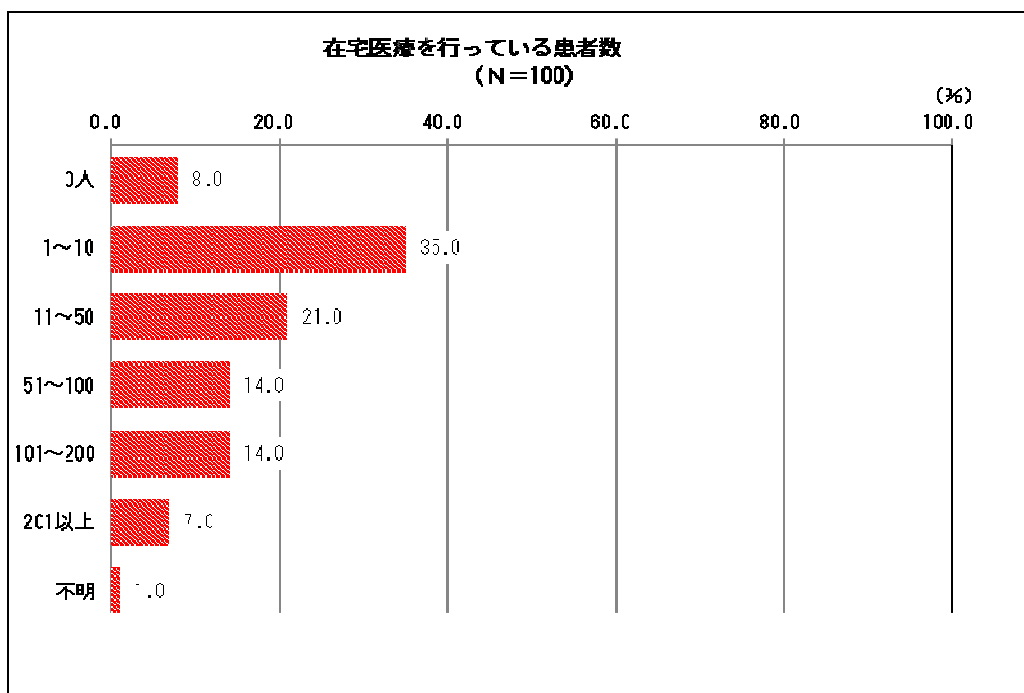
イ 在宅医療を実施していない理由 (複数回答)

スタッフの不足 … 48.3%



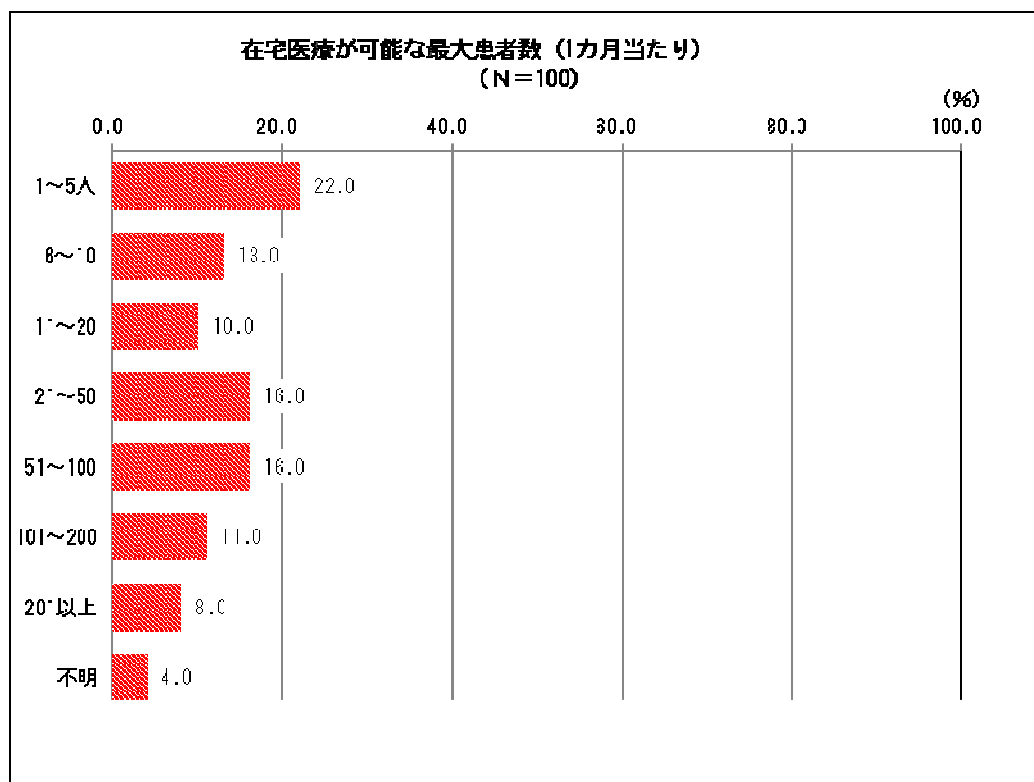
ウ 在宅医療を行っている患者数（在宅医療実施医療機関のみ回答）

患者数 1～10 名の診療所が最も多いが、患者数 100 以上の診療所も 20.0%にのぼる

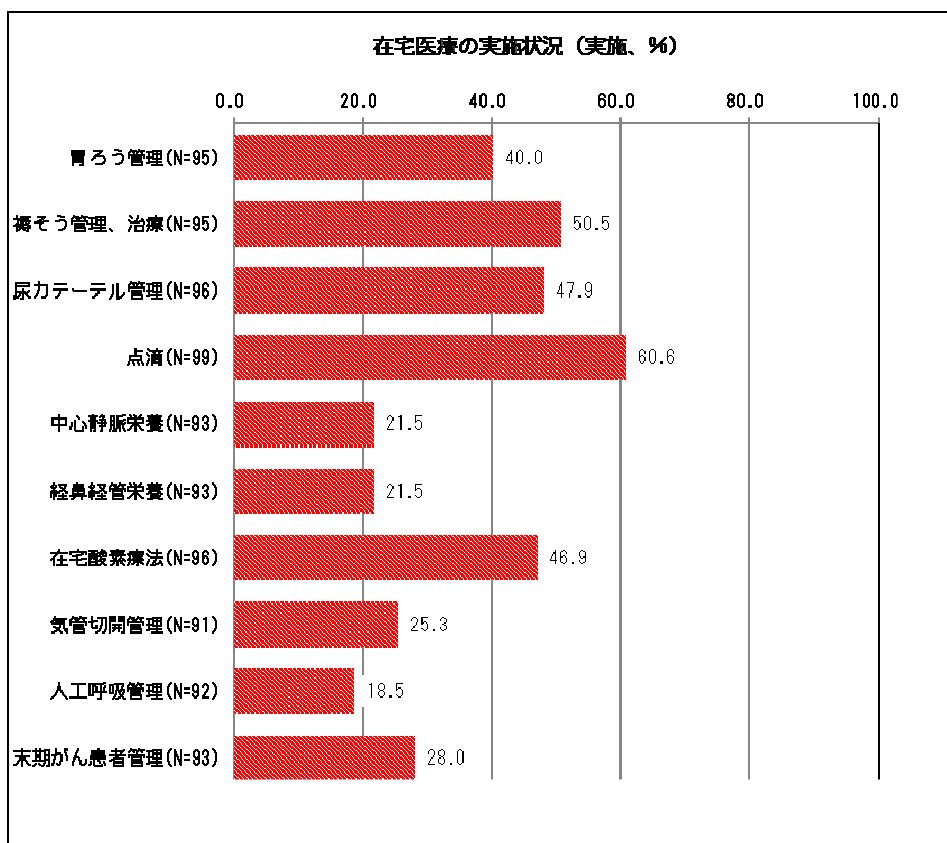


エ 在宅医療が可能な最大患者数（在宅医療実施医療機関のみ回答）

診療所の状況によって対応可能患者数は様々

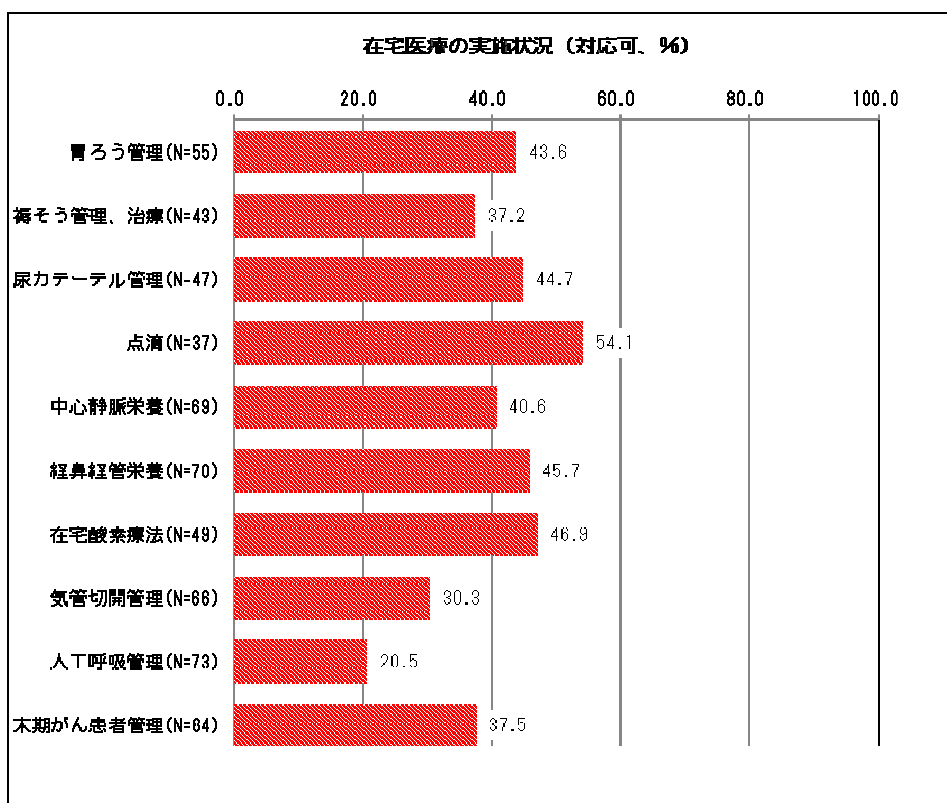


オ 在宅医療の実施状況・実施項目（在宅医療実施医療機関のみ回答：複数回答）



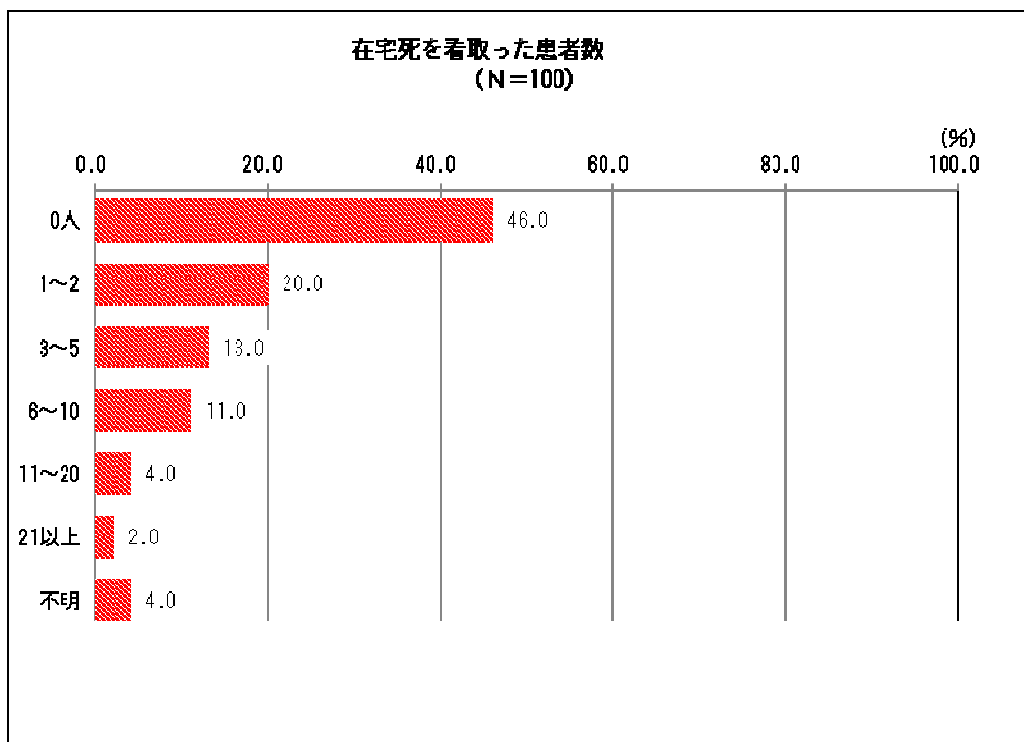
カ 在宅医療の実施状況・対応可能項目

（在宅医療実施医療機関のみ回答：複数回答）

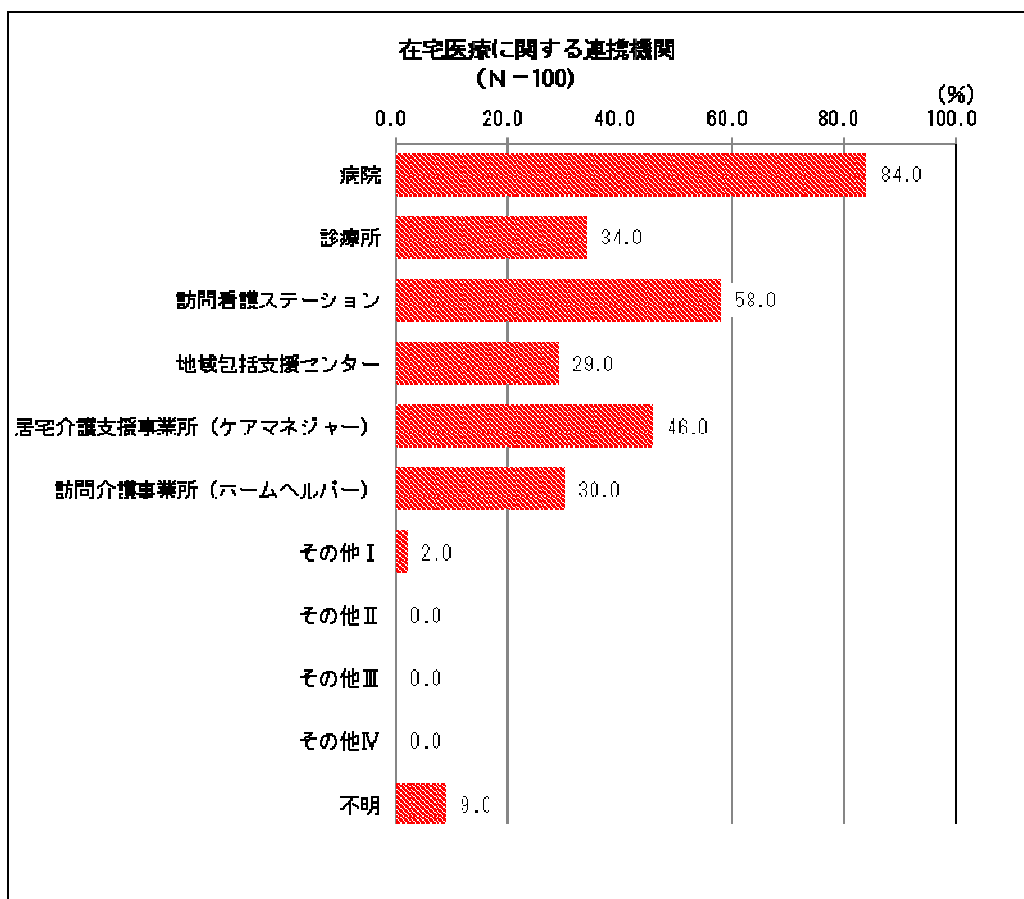


キ 在宅死を看取った患者数（在宅医療実施医療機関のみ回答）

0名が最も多い



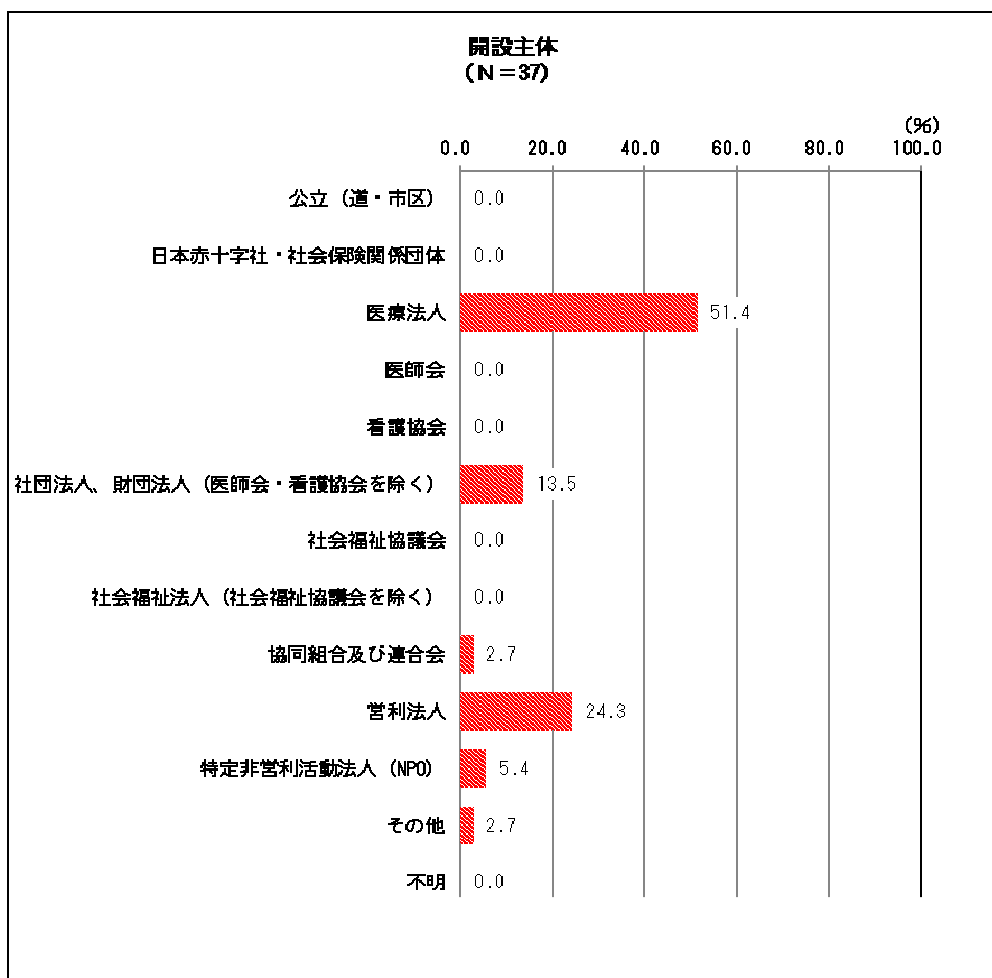
ク 在宅医療に関する連携機関（在宅医療実施医療機関のみ回答：複数回答）



(3) 訪問看護ステーション

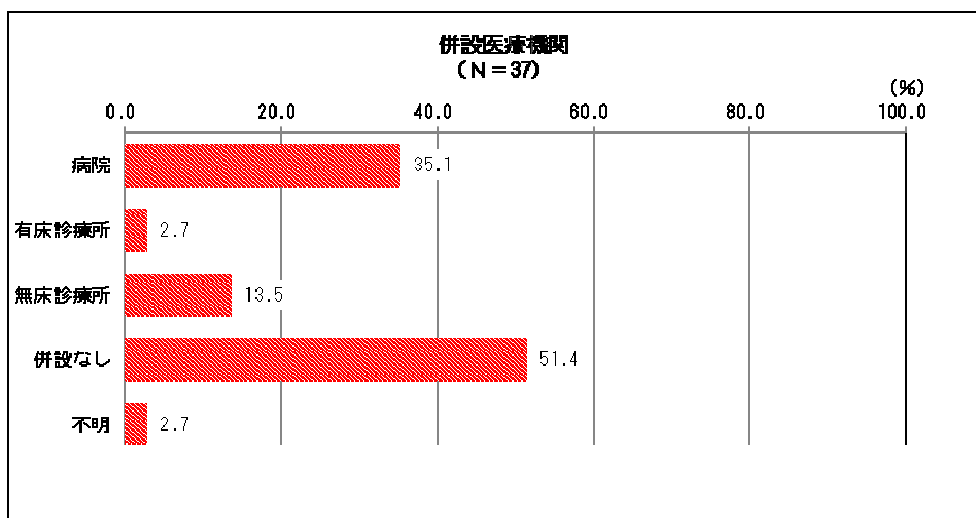
ア 開設主体

医療法人 51.4%、営利法人 24.3%



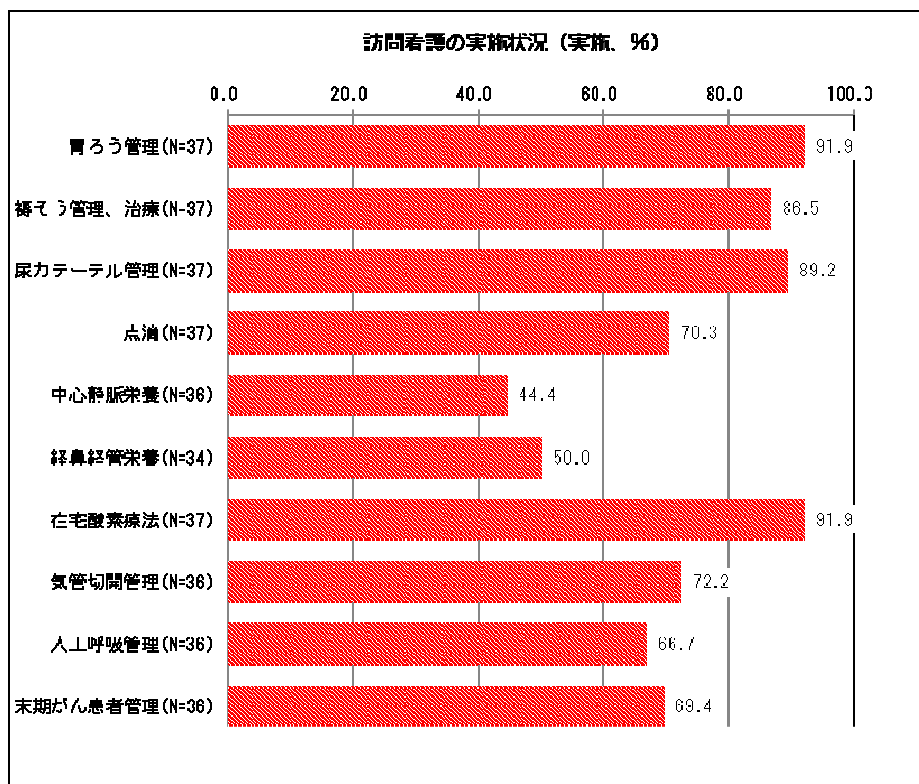
イ 併設医療機関

併設なし 51.4%、病院 35.1%



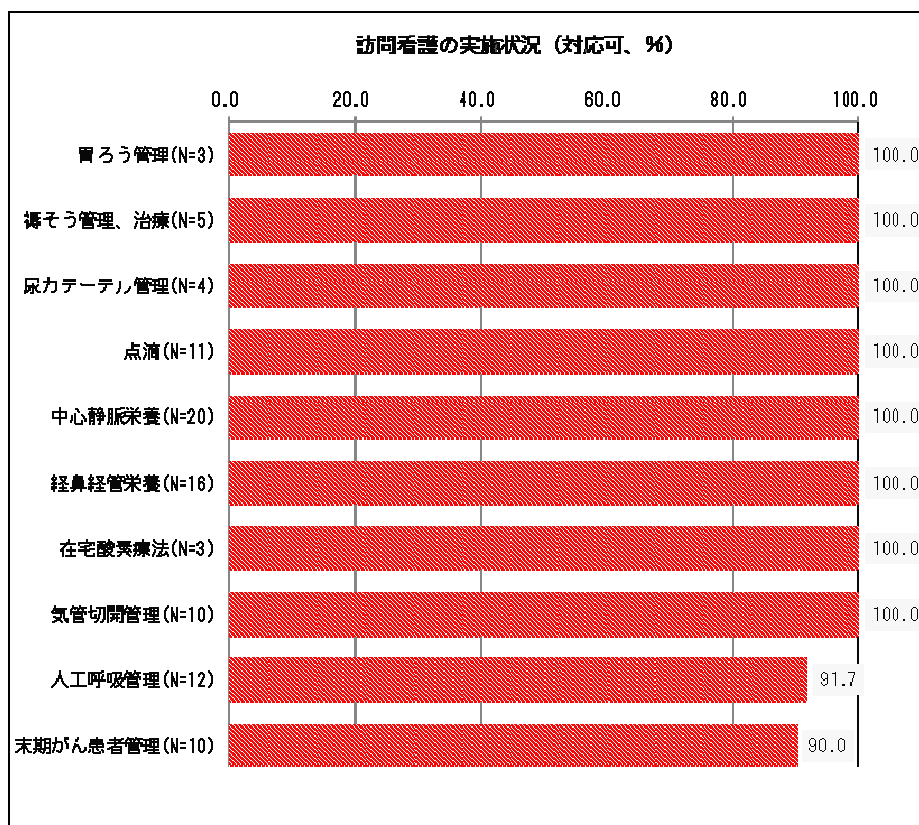
ウ 訪問看護の実績状況（実施項目）

中心静脈栄養、経鼻経管栄養の割合が比較的低い



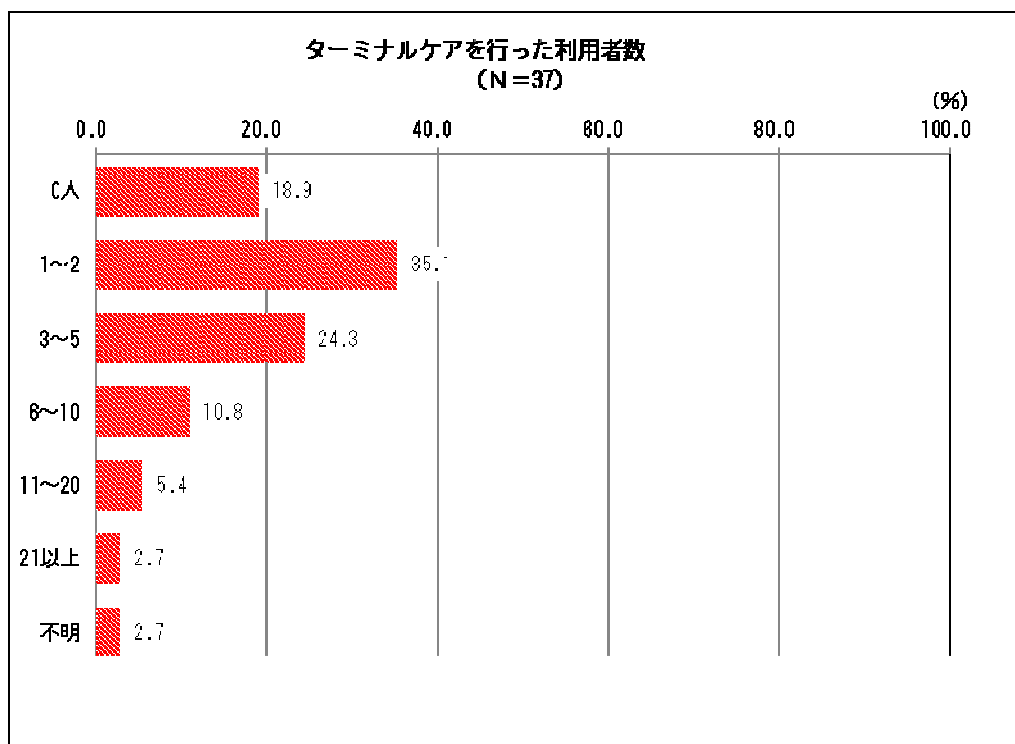
エ 訪問看護の実績状況（対応可能項目）

ほとんどすべての項目に対応可能



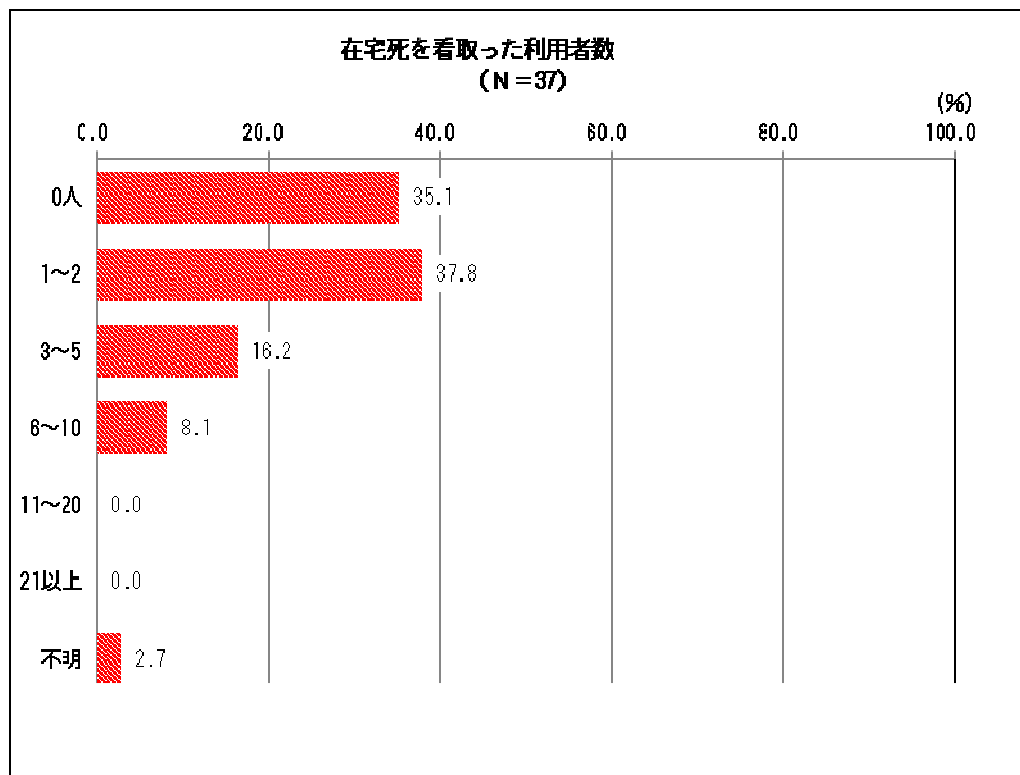
オ ターミナルケアを行った利用者数

1~5名 … 59.5%、0名 18.9%



カ 在宅死を看取った利用者数

1~5名 59.5%、0名 35.1%



キ 患者が訪問看護を受けるきっかけとなった場所・施設（複数回答）

介護支援事業所 64.9%、病院 51.4%、地域包括支援センター 32.4%

